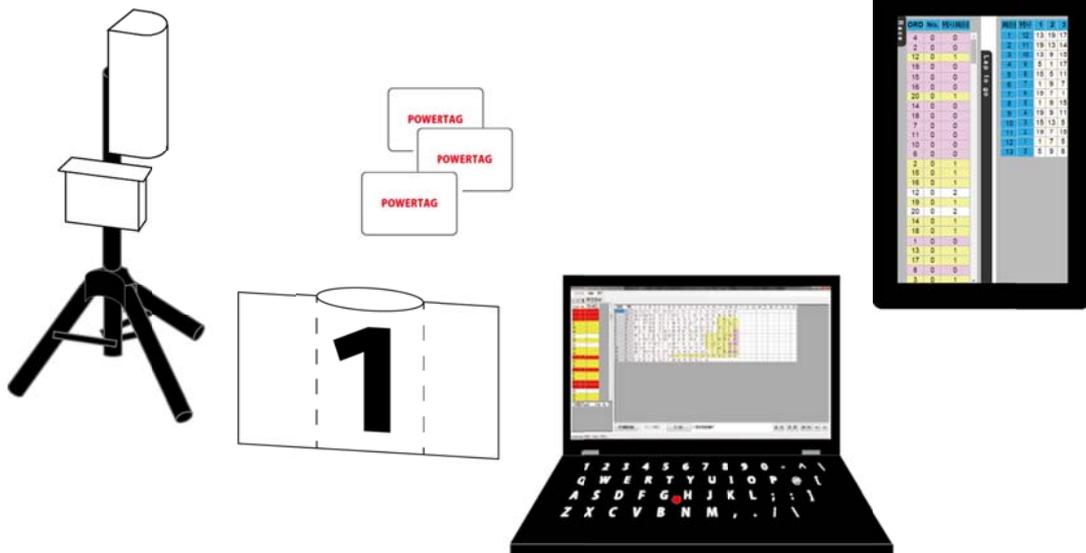


周回記録補助システム

—Lap-Scoring Support System—

 マット株式会社
MEDIA ADVANCED TECHNOLOGY



■ システム概要

ロードレース・駅伝などで使用する IC タグと三脚式の受信機を使用して、周回記録を補助します。走路面に計測マットなどの敷物を引く必要がありませんのでトラック競技でも使用することができます。

■ 参照出来る情報

通常の周回記録用紙形式で周回情報を表示する他に、選手が通過するたびにその選手の残り周回を表示します。

■ 周回記録用紙形式の表示

周回記録員が見慣れた形式で周回情報を表示します。

大まかな通過順を確認出来る他、周回遅れが色で区別されるため周回遅れの選手の確認も出来ます。

■ 残り周回表示

通過した選手の残り周回により表示部分の色が変わりますので重要な情報が一目で分かります。

残り周回表示

残り周回	表示色
フィニッシュ	赤
1周	黄
上記以外	白

最新の情報が最上部に挿入され古いものは下に移動していきます。

周回記録用紙形式の表示

周回ごとにICタグの反応順で表示されます。

※正確な通過順ではありません。

周回遅れになると背景が変わります。

■使用する機器と用途

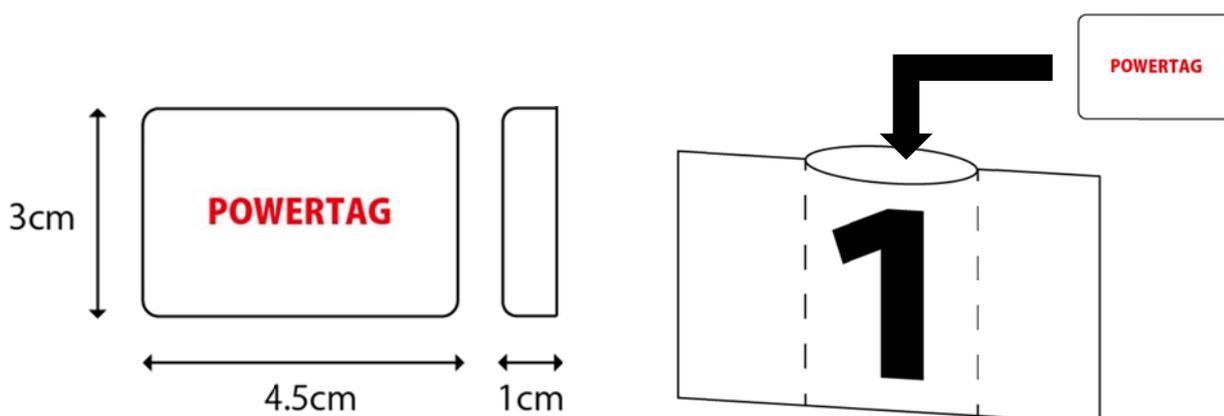
■ IC タグ

ポケット付腰ナンバーカードに入れて使用します。トラックレースではこの腰ナンバーカードを左腰に装着して下さい。その他のレースでは受信機を設置する側に腰ナンバーカードを装着して下さい。

IC タグを装着した選手が受信機の有効エリアに進入すると、受信機から「ピー」と音が鳴り、その約 2 秒後コンピューターやタブレットに情報が表示されます。

IC タグを挿入した腰ナンバーカードは通常の腰ナンバーカードと同様に、招集所で配布しレース終了後は腰ナンバーカード回収係で回収して下さい。途中棄権や失格でレースの途中で離脱した選手の腰ナンバーカードも確実に回収して下さい。IC タグには予め特定のナンバーが割り振られていますので腰ナンバーカードから取り外さないようにして下さい。

タグはサイズ 4.5×3×1 (cm) くらい、重さ 11g くらい (100 円玉 2 枚程度) です。左下の図とおおよそ同じサイズです。

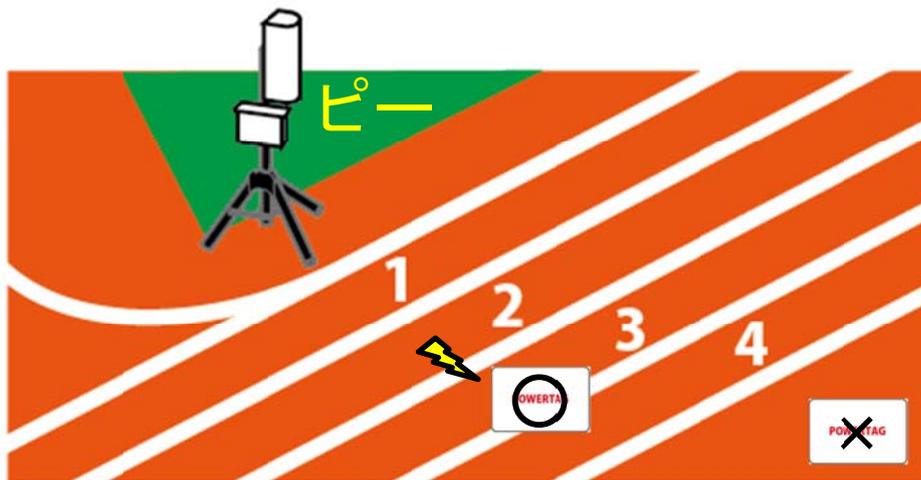


■■受信機

受信機の有効エリア（タグが反応する範囲）は約 5m です。トラックレースでは 4 レーンくらいまでが有効エリアです。フィニッシュ時にレーン規制する場合はこの点を考慮して下さい。

通常、トラックレースでは有効エリアの制限からトラックの内側に設置します。設置位置は第 4 コーナー出口付近が目安になります。情報参照端末に情報が表示されるタイミングや風向風速計などの他の機器との兼ね合いで位置を調節して下さい。また、スタート地点が有効エリアに入るように設置すると、スタート時に IC タグが反応し受信機から音が鳴り続けるため注意が必要です。

受信機は通常 AC100V で動作します。電源の確保が難しい場合はオプションで専用バッテリーからの給電で動作させることも可能です。



■■コンピューター・タブレット

■■■制御端末 (PC)

受信機と LAN ケーブルで接続し受信機から IC タグの通過情報を取得・管理します。

受信機の管理 (受信機との接続・切断など)、競技会情報の管理 (競技会名の設定・レースの追加など)、

レース情報の管理 (レースの開始終了・欠測時の対応※・周回記録用紙の印刷・ログの表示など)、レー

ス情報の配信などを実施します。

トラック内側のフィニッシュライン付近に配置します。

※欠測時の対応：IC タグが受信機に反応しなかった場合は手動で追加することが出来ます。

■■■情報参照端末 (PC・タブレットなど)

PC やタブレットなどの WEB ブラウザーを使用して、制御端末から配信されるレース情報を参照します。

周回記録員や写真判定室、アナウンスなど周回情報を参照する任意の場所に配置します。

参照するレースはカウント中のレースに限らず、任意にレース一覧から選択出来ます。

端末	配置	役割
制御端末	フィニッシュライン付近	受信機の管理 (接続・切断など) 競技会情報の管理 (競技会名設定・レース追加など) レース情報の管理 (開始終了・欠測時の対応・周回記録用紙印刷・ログ参照) レース情報の配信
情報参照端末	周回記録員 写真判定室 アナウンス その他参照する場所	周回記録情報・残り周回の参照